

平成 2 0 年度
教育に関する事務の管理及び執行の
点検及び評価報告書

平成 21 年 8 月 26 日

長岡市教育委員会

【目 次】

事務評価委員会報告書

教育委員会会議の開催及び審議状況		
1	教育委員会 4月臨時会（平成 20 年 4 月 1 日開催）……………	1
2	教育委員会 4月定例会（平成 20 年 4 月 18 日開催）……………	1
3	教育委員会 5月定例会（平成 20 年 5 月 26 日開催）……………	2
4	教育委員会 6月定例会（平成 20 年 6 月 27 日開催）……………	2
5	教育委員会 7月定例会（平成 20 年 7 月 24 日開催）……………	3
6	教育委員会 8月定例会（平成 20 年 8 月 25 日開催）……………	3
7	教育委員会 9月定例会（平成 20 年 9 月 26 日開催）……………	3
8	教育委員会 10月定例会（平成 20 年 10 月 29 日開催）……………	4
9	教育委員会 11月定例会（平成 20 年 11 月 21 日開催）……………	4
10	教育委員会 12月定例会（平成 20 年 12 月 1 日開催）……………	5
11	教育委員会 1月臨時会（平成 21 年 1 月 5 日開催）……………	5
12	教育委員会 1月定例会（平成 21 年 1 月 21 日開催）……………	5
13	教育委員会 2月定例会（平成 21 年 2 月 17 日開催）……………	5
14	教育委員会 3月定例会（平成 21 年 3 月 19 日開催）……………	6
15	施設訪問……………	7
	教育委員会会議等に関する点検・評価及び今後の取組み等……………	8
教育委員会における事務の点検・評価について		
1	生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現……………	9
	(1) 子育てを支援する場の整備……………	9
	家庭・地域の子育て支援施設の整備・運営（子ども家庭課）……………	9
	保育園施設等の整備（保育課）……………	10
	児童館・児童クラブ等の整備・運営（子ども家庭課）……………	10
	(2) 子育て支援サービスの拡充……………	10
	家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備（子ども家庭課）……………	10
	家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備（保育課）……………	11
	保育サービスの充実（保育課）……………	12
	子育てを支援するサービスの拡充（子ども家庭課）……………	12
	子育てを支援するサービスの拡充（保育課）……………	12
2	人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現……………	13
	(1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進……………	13
	（熱中！感動！夢づくり教育の推進）	
	どの子にもわかる授業の実現（学校教育課）……………	13
	どの子にもわかる授業の実現（学務課）……………	14
	どの子にもわかる授業の実現（教育センター）……………	14
	地域の力、市民の力を生かした教育の推進（学校教育課）……………	15
	熱中・感動体験活動の充実（学校教育課）……………	16
	幼稚園教育・高等教育の振興（学務課）……………	16
	幼稚園教育・高等教育の振興（保育課）……………	17
	(2) 子どものサポート体制の充実……………	17
	生徒指導の充実（学校教育課）……………	18
	特別支援教育の充実（学校教育課）……………	18
	心のケア対策の充実（学校教育課）……………	19
	(3) 青少年の健全育成活動の推進……………	19
	交流・体験学習環境の充実（子ども家庭課）……………	19
	非行防止活動の充実（子ども家庭課）……………	20
	(4) 安全・安心な教育環境の整備……………	20
	子どもの安全確保を図る体制づくりの推進（学校教育課）……………	20
	防災・防犯教育の充実（学校教育課）……………	21
	学校施設における安全性の確保（教育総務課）……………	21
	(5) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進……………	22
	歴史的・文化的遺産の保存及び継承（科学博物館）……………	22
	(6) 市民主体の生涯学習の推進……………	23
	生涯学習機会の充実（中央公民館）……………	23

	生涯学習機会の充実 ・生涯学習関連施設の整備 （中央図書館）……	24
	生涯学習関連施設の整備 （科学博物館）……	24
(7)	スポーツ・レクリエーション活動の推進 ……	24
	生涯スポーツ活動の充実（スポーツ振興課）……	25
	競技スポーツの振興（スポーツ振興課）……	25
	スポーツ・レクリエーション施設の整備及び管理運営（スポーツ振興課）……	25

平成 21 年 8 月 5 日

長岡市教育委員会

委員長 大橋 岑生 様

長岡市教育委員会事務評価委員会

委員長 原田 義夫

副委員長 中曾根 勝彦

委員 樋熊 憲子

委員 野口 正巳

事務評価委員会報告書

平成 20 年度に執行された長岡市教育委員会の会議と所管事業の内容及びその点検・評価結果について、教育委員並びに所管の課長からヒアリング調査を行い、長岡市教育委員会事務評価委員会として協議・検討を行った。その結果、会議は適正に開催され、それぞれの施策で掲げている目標も概ね達成しているものと評価したので、これを長岡市教育委員会事務評価委員会設置要綱（平成 20 年 5 月 30 日 教育委員会告示第 18 号）第 2 条の規定に基づき報告する。

なお、個別の事業に対する要望事項や意見があるものについては、それぞれの項目に記載した。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、長岡市教育委員会の平成 20 年度における事務の管理及び執行の状況について、次のとおり点検及び評価したので、報告します。

教育委員会会議の開催及び審議状況

平成 20 年度に教育委員会定例会を 12 回、臨時会を 2 回開催し、45 件の議案を審議した。協議報告事項は 72 件であった。また、施設訪問を 7 回実施し、19 か所で授業（保育）参観・懇談会・給食試食及び校内（園内）視察などを行った。

審議の結果は、以下のとおりである。

1 教育委員会 4 月臨時会

日 時 平成 20 年 4 月 1 日（火曜日）
午後 2 時 10 分から午後 2 時 15 分まで
場 所 長岡市教育委員会教育長室
傍聴人 なし
議 事 委員長の選挙、委員長職務代行者の指定

2 教育委員会 4 月定例会

日 時 平成 20 年 4 月 18 日（金曜日）
午後 4 時から午後 5 時 30 分まで
場 所 長岡市教育委員会会議室
傍聴人 なし
議 事（3 件）

議案第 26 号	教育に関する事務の点検及び評価の基本方針について	原案決定
議案第 27 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定
議案第 28 号	専決処理について（補正予算の要求について）	原案承認

協議報告事項（9 件）

- ・教育委員会会議録のホームページ公開について
- ・学校諸経費未納状況について
- ・第 39 回子どもフェスティバルについて
- ・平成 20 年度長岡市成人式について
- ・長岡市青少年問題協議会委員について
- ・こどもすこやか応援事業について
- ・栃尾美術館「画歴を語る 丸山正三展」の開催について
- ・長岡市指定民俗文化財の指定解除について
- ・海牛特別展示会について

3 教育委員会 5 月定例会

日 時 平成 2 0 年 5 月 2 6 日 (月曜日)
午後 3 時から午後 4 時 1 0 分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事 (4 件)

議案第 29 号	平成 20 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査への不参加について	原案決定
議案第 30 号	長岡市教育委員会事務評価委員会設置要綱の制定について	原案決定
議案第 31 号	補正予算の要求について	原案決定
議案第 32 号	和解及び損害賠償について	原案決定

協議報告事項 (6 件)

- ・平成 2 0 年度教育委員の学校・保育園等訪問について
- ・下小国小学校の再開について
- ・新しい学習指導要領について
- ・長岡市部活動遠征費補助金交付要綱の制定について
- ・平成 2 0 年度長岡市成人式について
- ・おやかスマイルガイド発刊記念講演会の開催について

4 教育委員会 6 月定例会

日 時 平成 2 0 年 6 月 2 7 日 (金曜日)
午後 3 時から午後 4 時 1 5 分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事 (3 件)

議案第 33 号	長岡市放課後子どもプラン運営委員会設置要綱の制定について	原案決定
議案第 34 号	長岡市産前産後家庭生活応援事業実施要綱の制定について	原案決定
議案第 35 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

協議報告事項ほか (6 件)

- ・6 月議会における教育委員会関係の質問事項について
- ・西谷川魚類へい死に関する事故について
- ・保育指針の改定について
- ・「私のお宝アート展」(栃尾美術館) の開催について
- ・特別展「八幡林官衙遺跡と古代のながおか」の開催について
- ・与板歴史民俗資料館「上杉景勝書状」の公開について

5 教育委員会 7月定例会

日 時 平成20年7月24日(木曜日)
午後4時から午後4時30分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事(2件)

議案第36号	平成21年度使用教科用図書採択について	原案決定
議案第37号	長岡市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	原案決定

協議報告事項(4件)

- ・教育委員会関係工事入札状況
- ・平成20年度版「子育てガイド」の発行について
- ・青少年健全育成のつどい「ALPニスト野口健氏講演会」の開催について
- ・第38回教育講演会の開催について

6 教育委員会 8月定例会

日 時 平成20年8月25日(月曜日)
午後4時から午後4時50分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事(2件)

議案第38号	補正予算の要求について	原案決定
議案第39号	附属機関委員の委嘱について	原案決定

協議報告事項(9件)

- ・附属機関会議報告
長岡市社会教育委員会、長岡市公民館運営審議会
長岡市図書館協議会
- ・長岡市青少年健全育成総合対策実施計画について
- ・長岡市成人式(8月実施分)について
- ・子育てフェスティバル2008の開催について
- ・父と子のメモリアルカードの作成・配付について
- ・災害アーカイブスの公開(文書資料館)について
- ・「やなせたかしの世界展」(栃尾美術館)の開催について
- ・秋季企画展「三十稲場式土器とその時代」の開催について
- ・全国学力・学習状況調査の結果の公表について

7 教育委員会 9月定例会

日 時 平成20年9月26日(金曜日)
午後4時から午後4時50分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

協議報告事項（9件）

- ・9月議会における教育委員会関係の質問事項について
- ・平成20年度全国学力・学習状況調査 長岡市の結果について
- ・第7回いきいき教育推進懇談会の開催について
- ・全国中学校体育大会出場者の成績について
- ・平成20年度就学時等家庭教育講座の実施について
- ・第9回ながおかポニーカーニバルの開催について
- ・平成21年度保育園児の入園募集について
- ・「長岡市立図書館創立90周年記念展 - 図書館の未来に向けて - 」及び「災害アーカイブス展～避難所の記録と記憶～」の開催について
- ・「第57回生物標本展示会」及び「第50回自然科学写真展示会」の開催について

8 教育委員会10月定例会

日 時 平成20年10月29日（水曜日）

午後3時から午後3時50分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事（2件）

議案第40号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	原案決定
議案第41号	職員人事について	原案決定

協議報告事項（5件）

- ・与板歴史民俗資料館の臨時閉館について
- ・ポニー関連事業について
- ・長岡市子育て応援プラン後期計画策定に関するニーズ調査について
- ・文芸講演会の開催について
- ・展覧会の開催について

9 教育委員会11月定例会

日 時 平成20年11月21日（金曜日）

午後3時30分から午後4時50分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事（2件）

議案第42号	指定管理者指定の申出について （長岡市法末自然の家の指定管理者の指定）	原案決定
議案第43号	平成19年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について	原案決定

協議報告事項（４件）

- ・平成21年度の新規事業について
- ・悠久山公園小動物園トキ近縁種の一般公開について
- ・携帯電話等被害防止講習会の実施報告について
- ・第2回熱中！感動！夢づくり教育推進会議の実施報告について

10 教育委員会12月定例会

日 時 平成20年12月1日（月曜日）
午後1時30分から午後4時15分まで

場 所 長岡市教育委員会会議室

傍聴人 なし

議 事（2件）

議案第44号	平成20年度12月補正予算について	原案決定
議案第45号	平成21年度当初予算の要求について	原案決定

11 教育委員会1月臨時会

日 時 平成21年1月5日（月曜日）
午前11時から午前11時10分まで

場 所 ながおか市民センター205会議室

傍聴人 なし

議 事 委員長の選挙、委員長職務代理者の指定

12 教育委員会1月定例会

日 時 平成21年1月21日（水曜日）
午後3時30分から午後4時10分まで

場 所 長岡市立東中学校会議室

傍聴人 なし

議 事（2件）

議案第1号	平成21年度全国学力・学習状況調査への参加について	原案決定
議案第2号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について	原案決定

協議報告事項（5件）

- ・教育委員会関係建築工事入札状況（東中学校旧校舎等解体工事）
- ・現場からの教育改革リレーフォーラム in 長岡の開催について
- ・平成20年度中学校卒業式の出席について
- ・「子育ての駅千秋（仮称）開設準備室」の設置について
- ・第2回ながおかのこども作品展について

13 教育委員会2月定例会

日 時 平成21年2月17日（火曜日）

午後 3 時から午後 4 時 4 5 分まで
 場 所 長岡市教育委員会会議室
 傍聴人 なし
 議 事 (6 件)

議案第 3 号	平成 21 年度学校教育の基本方針について	原案決定
議案第 4 号	条例改正の申出について (長岡市立学校使用条例の一部改正)	原案決定
議案第 5 号	条例制定の申出について (長岡市子育ての駅条例の制定)	原案決定
議案第 6 号	長岡市子育ての駅条例施行規則の制定について	原案決定
議案第 7 号	補正予算の要求について	原案決定
議案第 8 号	校長、教頭の人事異動の内申について	原案決定

協議報告事項 (8 件)

- ・平成 2 1 年度長岡市教育委員会当初予算の概要について
- ・平成 2 1 年度「熱中！感動！夢づくり教育」の概要について
- ・平成 2 0 年度文部科学大臣優秀教員表彰について
- ・放課後子ども教室推進表彰（文部科学省）の受賞について
- ・（財）ジョイセフ（家族計画国際協力財団）「ベトナム国リプロダクティブヘルスケア広域展開アプローチ」研修（母子保健推進）の受け入れについて
- ・早春コンサート～朗読と音楽でつづる懐かしいメロディ～について
- ・特別展「兼続を育てた謙信公のふるさと展」について
- ・長岡市指定文化財の登録抹消について

14 教育委員会 3 月定例会

日 時 平成 2 1 年 3 月 1 9 日（木曜日）
 午後 3 時 1 0 分から午後 4 時 3 0 分まで
 場 所 長岡市教育委員会会議室
 傍聴人 なし
 議 事 (1 7 件)

議案第 9 号	平成 21 年度社会教育の基本方針について	原案決定
議案第 10 号	平成 21 年度使用教科書用図書の採択について	原案決定
議案第 11 号	平成 21 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査への参加について	原案決定
議案第 12 号	長岡市教育委員会組織規則等の一部改正について	原案決定
議案第 13 号	長岡市立学校管理運営に関する規則の一部改正について	原案決定

議案第 14 号	長岡市立学校県費負担教職員安全衛生管理規則の一部改正について	原案決定
議案第 15 号	長岡市教育委員会事務決裁規程及び長岡市教育委員会教育長事務委任規程の一部改正について	原案決定
議案第 16 号	長岡市栃尾美術館協議会規則及び長岡市栃尾美術館美術品収集委員会規則の一部改正について	原案決定
議案第 17 号	長岡市水族博物館協議会規則の一部改正について	原案決定
議案第 18 号	事務の委任について	原案決定
議案第 19 号	長岡市教育委員会非常勤嘱託員の任用等に関する要綱の一部改正について	原案決定
議案第 20 号	長岡市妊婦健康健康診査実施要綱の一部改正について	原案決定
議案第 21 号	長岡市要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正について	原案決定
議案第 22 号	長岡市直江兼統展示整備検討委員会設置要綱の一部改正について	原案決定
議案第 23 号	長岡市立学校学区外就学等許可基準の一部改正について	原案決定
議案第 24 号	附属機関委員の委嘱について	原案決定
議案第 25 号	専決処理について（職員人事について）	原案承認

協議報告事項（7件）

- ・平成21年4月1日付け組織変更について
- ・3月議会における教育委員会関係の質問事項について
- ・「子育ての駅千秋」の愛称及びロゴマークの決定について
- ・長岡市不妊治療費助成事業の改正について
- ・附属機関会議報告
- ・「郷土長岡を創った人びと」の刊行について
- ・第8回全国藩校サミット in 長岡の開催チラシについて

15 施設訪問

- (1) 平成20年7月24日（木曜日）
こしじ保育園、ひまわり保育園、下小国小学校
- (2) 平成20年8月25日（月曜日）
和島保育園・幼稚園、みしま北保育園、与板歴史民俗資料館
- (3) 平成20年9月26日（金曜日）
秋葉中学校、栃尾東小学校、栃尾南小学校
- (4) 平成20年10月29日（水曜日）
上塩小学校、下塩小学校

- (5) 平成20年11月21日(金曜日)
寺泊中学校、寺泊小学校
- (6) 平成21年1月21日(水曜日)
大河津小学校、みずほ保育園、東中学校
- (7) 平成21年2月17日(火曜日)
刈谷田中学校、東谷小学校

< 教育委員会会議等に関する点検・評価及び今後の取組み等 >

長岡市教育委員会会議規則に基づき教育委員会会議を適正に執行した。議案及び協議報告事項に対し、各委員から積極的な発言がなされ、十分な審議がなされた。

会議録については平成20年度からホームページで公開しており、審議の透明性を高めた。

施設訪問では、現場の状況を把握することに努めた。今後の教育委員会運営に活用していく。

より開かれた教育委員会を目指すため、教育委員会定例会を各地域の施設など市民に身近な場所で開催する。

< 事務評価委員会の意見等 >

地域に出て定例会を開くことは、市民にとって教育委員会が身近に感じられることに繋がると考えられる。ぜひ実施されることを望む。

教育委員会における事務の点検・評価について

平成 19 年 3 月に策定した「長岡市総合計画」に定める政策のうち、教育委員会で所管する政策について点検・評価を行った。

具体的には、各政策の柱ごとの「基本政策」について、平成 20 年度における目標値に対する達成状況を点検するとともに、個別の施策について点検・評価を実施したものである。

点検・評価の結果は、以下のとおりである。

1 生涯健やかで、いきいきと暮らせるまちの実現

(1) 子育てを支援する場の整備

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
つどいの広場事業（ちびっこ広場）の実施箇所数を増やす。	1 か所 (平成 17 年度)	3 か所 (平成 22 年度)	2 か所
保育園への入園待機状態を解消する。 【保育園待機児童数】	9 人 (平成 18 年度)	0 人 (平成 22 年度)	0 人
児童クラブを必要とする保護者が利用できる環境を整える。 【児童クラブ数、児童クラブ利用者数】	2 8 地区 3 1 クラブ 237,897 人 (平成 17 年度)	3 4 地区 4 7 クラブ 352,500 人 (平成 22 年度)	3 8 地区 3 8 クラブ 395,044 人

施策の内容

【家庭・地域の子育て支援施設の整備・運営（担当：子ども家庭課）】

< 20 年度の取り組み >

外出時の休憩場所や雨天時・冬期間の遊び場として、親子で自由に利用できる施設。単なる広場・遊び場にとどまらない「子育て支援施設」を目指し、遊び場機能、保育機能、交流機能、相談機能、情報提供機能を有した「ちびっこ広場・まちなか保育園」を運営している。

つどいの広場事業を実施する新たな施設「子育ての駅千秋」が、平成 21 年 3 月末に完成。（供用開始は平成 21 年度）

< 成果及び今後の取り組み等 >

平成 20 年度ちびっこ広場来場者 29,834 人、一時保育利用者 2,883 人であった。市民参加型の事業運営を目指し、公募委員で組織する「子育ての駅」運営委員会を設置し、今後も利用者の立場に立った事業を展開するとともに、よりよい活用方法等を検討していく。

【保育園施設等の整備（担当：保育課）】

< 20 年度の取り組み >

岡南保育園の整備増床を実施した。（定員 10 名増加した。）

< 成果及び今後の取組み等 >

引き続き今後の保育需要に見合う施設等の整備を推進していく。

【児童館・児童クラブ等の整備・運営（担当：子ども家庭課）】

< 20 年度の取り組み >

児童に健全な遊びを与えながら、その健康を増進するとともに、豊かな情操の形成を目ざし、児童館を地域における青少年健全育成活動の拠点とするよう運営した。

児童クラブは、昼間保護者がいない小学校 1～3 年生を対象に、健全な遊びを中心とする健全育成事業を主に児童館で実施した。

< 成果及び今後の取組み等 >

児童クラブの登録を通年利用者と一時利用者に分けたことで、定員 70 人を超過する児童クラブ数は減少した。（12 か所 3 か所）

今後、人口増による大規模児童クラブについては、児童クラブの分割・増設を検討していく。

(2) 子育て支援サービスの拡充

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
家庭児童相談室の認知度を高める。	43.7% (平成 15 年度)	50.0% (平成 20 年度)	56.5%
保育サービスに対する満足度を高める。	69.9% (平成 15 年度)	75.0% (平成 20 年度)	83.8%

施策の内容

【家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備（担当：子ども家庭課）】

< 20 年度の取り組み >

児童虐待の防止等を目的に地域と協働した子ども家庭支援事業を開始し、地域で気軽に子育ての不安や悩みを相談できる環境づくりを推進した。

子育て支援センターにおいて、グループミーティングやストレスマネジメント講座を実施した。

乳幼児健診に参加し、会場の親子に声をかけ、家庭児童相談室のPRを行った。

市政だよりで相談室の利用を呼びかけた。

児童館・学校に出向き、児童虐待の気づきや支援のポイント等について意見交換や支援体制等の周知を行った。

< 成果及び今後の取り組み等 >

家庭児童相談室の相談内容の育児相談件数が増加したこと及び家庭児童相談室の認知度が上がった。

今後は、昨年度までの子ども家庭支援事業を継続または拡大実施し、地域での児童虐待の見守り体制を強化するとともに、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる地域支援体制づくりを進める。

【家庭・地域の子育てを支援する相談体制の整備（担当：保育課）】

< 20年度の取り組み >

配慮を要する児童に早期に気づき、就学前から就学後まで一貫した計画のもと、継続した保護者・園支援を推進した。

市政だよりや公共機関を通じ事業のPRを実施した。

公私立保育園・幼稚園を訪問し、事業のPRと実態調査を実施した。

園から提出された「相談依頼票」に基づき園を訪問し支援するとともに、必要に応じ保護者面談や専門機関との連携を図った。

就学支援体制の充実に図った。

- ・「個別の指導計画」作成の支援
- ・「すこやかファイル」作成と小学校への引渡し支援
- ・「就学支援シート」作成と小学校への引渡し支援

保護者の子育てに関する相談を実施した。

発達障害に関する理解と支援のために、保育士・幼稚園教諭・関係職員を対象に研修会を実施した。

< 成果及び今後の取り組み等 >

20年度すこやか応援班が関わったケース

- ・支援を行った園数 56園
- ・支援を行った児童数 97人
- ・すこやかファイル作成数 25人
- ・就学支援シート作成数 21人

成果として、就学に関する支援が明確になり、小学校と園との連携が強化された。

園支援や研修会を通し、配慮を要する児童の理解と具体的な対応力の向上、保護者に対してもすこやか班の活動内容や認知度が上がった。

すこやかファイル等を作成した保護者からは、「就学前に学校に伝えることができ、良かった。」という声が多かった。また、対象児童を迎える小学校からも「就学前に児童の様子や保護者の思いを把握することができ、就学後の支援にたいへん役立つ。」という評価を得た。

今後は就学後のフォローと就学相談業務の強化、「個別の指導計画」作成年齢の幅を広げる等、より良い支援体制づくりを進める。

< 事務評価委員会の意見等 >

すこやかファイルについては、長期間にわたり子どもを支援することができるため、たいへんよい取組みであると考え。ただし、個人情報の取扱いについては十分注意を払ってほしい。

【保育サービスの充実（担当：保育課）】

< 20 年度の取組み >

保育需要に見合うサービス提供の一環として、各種特別保育を実施した。

一時保育事業	30 か所
休日保育	3 か所
地域子育て支援センター	31 か所（2 か所増加）
病後児保育事業	4 か所

< 成果及び今後の取組み等 >

今後の保育需要に対する適切なサービスの提供に努める。

【子育てを支援するサービスの拡充（担当：子ども家庭課）】

< 20 年度の取組み >

仕事と育児の両立を支援するため、児童館・児童クラブ及び地域における育児の相互援助組織である、ファミリー・サポート・センターを運営した。児童クラブの定員超過状況解消に向けた取組みとして、児童クラブの登録方法を通年利用と一時利用の二つの形態に見直した。

< 成果及び今後の取組み等 >

平成 20 年度ファミリー・サポート・センターの状況

平成 20 年 3 月末現在登録会員数 1,244 人

平成 20 年度サポート活動件数 7,786 件

ファミリー・サポート・センター事業の PR 及び会員獲得を進めるため、地域ごとに会員と子育て支援関係者による小グループの交流会を実施する。

児童クラブの定員超過状況解消に向けた取組みとして、大規模児童クラブの分割又は増設を進める。

【子育てを支援するサービスの拡充（担当：保育課）】

< 20 年度の取組み >

一時保育事業を継続実施した。（30 か所）

子育て支援センター事業を継続実施した。（31 か所）

< 成果及び今後の取組み等 >

適切な利用者への PR 周知により、サービス利用者の拡大を図る。

2 人材と文化をはぐくむ人間性豊かなまちの実現

(1) やる気や学ぶ意欲を引き出す教育の推進

(熱中！感動！夢づくり教育の推進)

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
子ども一人ひとりの実態に応じた きめ細かな指導ができる体制を整 える。 【アシスタントティーチャー(教育 補助員)の配置数】	39人 (平成18年度)	45人 (平成22年度)	45人
教育に参加・協力する地域の団体、 NPO等を増やす。 【地域・子ども元気塾の支援団体数 (文化芸術・体育系)】	26団体 (平成18年度)	30団体 (平成22年度)	28団体

施策の内容

【どの子にもわかる授業の実現 (担当：学校教育課)】

< 20年度の取り組み >

学習指導、生徒指導等の教育活動の充実を図るため、教育活動の補助を必要とする学校に教育補助員を配置した。

重点校(中学校) 1校(2名)

小学校 28校(28名)

中学校 15校(15名)

学習ボランティアを小学校に派遣し、教師の補助や子どもへの個別指導を行うことにより、どの子にもわかる授業の実現を図った。

派遣校 15校に週1回程度派遣

英語を通じて、国際社会に通用する表現力やかかわる力を身につけさせるため、ALT(英語指導助手)とJTL(英語指導員)を全小中学校に派遣した。

小学校 3年生以上の全児童に対して年間8時間以上

中学校 全生徒に対して2週間に1回程度

市内の教員が国際的な視野から教育活動ができるよう、フォートワースへの中学生派遣にあわせ、教員2名を海外に派遣した。

< 成果及び今後の取り組み等 >

教育補助員を配置することにより、学習支援を必要とする児童生徒に対して、担任との事前打合せに基づいて、優しく、忍耐強く、熱意あふれる指導を行った。また、教育補助員からの情報提供により、全教職員の児童生徒への理解が深まり、児童生徒同士のトラブルの未然防止等に効果が見られた。

学習ボランティアによる個別指導により、児童の学習意欲の喚起や学習内容

の習得を図ることができた。

A L T (英語指導助手)とJ T L (英語指導員)の派遣により、小学校では、文化の異なる人などとも積極的にかかわって、コミュニケーションを図ろうとする姿が8割以上の学校で見られるようになった。今後は更に全小学校でこのような姿を見ることができるようにする。

海外研修事業により教員が国際感覚を身につけることにより、児童生徒の国際理解がさらに深まることが期待される。

【どの子にもわかる授業の実現 (担当：学務課)】

< 20年度の取り組み >

小中学校規模適正化基本方針の検討のため、「学校の適正規模と効果的な配置検討部会」を開催し、意見交換等を行った。

(内容)

- ・長岡市立小・中学校の規模等の現状について
- ・適正規模(統廃合)について

< 成果及び今後の取り組み等 >

20年度の意見交換等を参考にし、今後も継続的に検討を実施する。

【どの子にもわかる授業の実現 (担当：教育センター)】

< 20年度の取り組み >

教員の資質・指導力の向上を図るために、研修講座、教員サポート錬成塾、教育講演会、要請研修や教育研究論文の募集事業、ミドルリーダー養成研修等を実施した。

< 成果及び今後の取り組み等 >

研修講座については、小中養護学校、保育園等から166講座延べ3,227人の受講者を得て、教科指導、教育相談、特別支援、情報・視聴覚、幼児教育研修等を実施した。それぞれの研修で受講者からは概ね満足との評価を得ており、今後も教職員の資質・指導力の向上を目指した研修の充実を図っていく。教員サポート錬成塾については、ベーシックコース及びクリエイティブコースに72人の応募があり、信頼され子どもに感動を与える人間性豊かな教師を目指してマンツーマン指導を行った。事後のアンケートでは、受講生、所属長とも成果が大きいと評価しており、初任者研修終了後の研修、専門的なニーズに対応できる研修として定着してきた。

教育講演会については、8月に服部幸應氏を招聘して「食育」をテーマとして講演いただいた。800人を超える参加者があり、今日性あるテーマで有意義であったという評価であった。今後も長岡市の教育の充実のため、各界の第一線で活躍する識者を講師として迎えて実施していく。

要請研修については、各学校からの要請により、延べ220回実施した。各学校の校内研修の支援が主な内容である。年々要請回数は増えており、ニーズ

に応じた内容であると評価している。

教育研究論文については、176編の応募があり、審査にあたった大学教授や指導主事から年々レベルが向上しているという評価であった。

ミドルリーダー養成研修については、2期目の修了生を送り出し、事業が定着しつつある。修了生は、それぞれの分野において、各学校・地域でリーダーとして活躍している。

< 事務評価委員会の意見等 >

ミドルリーダー養成研修は、方法論だけではなく、子どもと触合うなかで学ぶことがたくさんあることを理解し、それを若い人に指導できるような内容でも行ってほしい。

【地域の力、市民の力を生かした教育の推進（担当：学校教育課）】

< 20年度の取り組み >

市民力、地域力を教育に生かすため、地域の団体、NPO等が自主的に行なう子どもを対象とする活動（自然体験活動、伝統文化の継承、環境美化活動、スポーツ・レクリエーション活動等）に対し、助成金を交付した。（事前説明会及び公開審査会を経て助成団体を決定）

自然・科学・文化・芸術分野 15団体（申請19団体）
2,598千円

スポーツ・レクリエーション分野 13団体（申請18団体）
1,823千円

開かれた学校づくりを推進するため、中学校区単位での教育フォーラムや全市民を対象とした教育シンポジウムを開催した。

・地域連携フォーラム（26中学校区で開催）

中学校単位で校区内の実情に応じたテーマを設定し、講演会やパネルディスカッション等を実施した。

・いきいき教育推進懇談会（10月18日（土） 出席者：保護者、教職員、一般市民等約400人）

「長岡の夢づくり教育～子どもたちに夢を描く力と生き抜く自信をはぐくむために～」をテーマに、学校と地域、保護者が連携した特色ある取組を3つ紹介してもらい、その後、地域で幅広く活動している方から講演を**してもらった**。

< 成果及び今後の取り組み等 >

NPO団体等に対する助成金については、事前説明会を実施した結果、申請予定団体に対し、制度の趣旨（申請方法及び審査内容等含む）を徹底することができた。

申請団体のプレゼンテーションによる公開審査会を実施した結果、申請事業の内容等が十分明らかになり、公正・公平な審査を行うことができた。

地域連携フォーラムは、各中学校区の実情に応じた身近なテーマを設定することにより幼・保、小、中学校の保護者、教職員及び地域の教育関係者等との連携が図られた。また、いきいき教育推進懇談会は、特色ある学校、地域の活動を聞き、また普段なかなか知ることができない地域の方の活動を知ることができ、より一層互いに手を取り合うことの大切さが確認でき、意識の向上を図ることができた。

地域子ども元気塾は、事業開始から3年が経過し、平成20年度で助成終了の団体がいくつかある。助成期間が終了した時点で、事業が中止されることのないよう、今後検討していく必要がある。

【熱中・感動体験活動の充実（担当：学校教育課）】

<20年度の取り組み>

子どもが夢中になる、感動する、夢につながる活動を充実させるため、熱中・感動体験活動（全42事業）を4つに体系化し取り組んだ。（前年度より12事業増加）

個性・能力を伸ばす事業	20事業
感性・情操を豊かにする事業	7事業
地域・自然を愛する心をはぐくむ事業	12事業
社会の一員としての意識を高める事業	3事業

<成果及び今後の取組み等>

従来からの継続事業については、講師等協力者や大学等協力団体等との連携を十分に図ることで、一層充実した活動にすることができた。

新規事業であった、劇団四季ミュージカル小学生招待事業については子どもに大きな感動を与え、事業効果が大きかったことから、21年度から市内小学6年生の全員招待事業とした。

事業開始から5年が経過したことから、21年度に中間評価を実施することとした。

<事務評価委員会の意見等>

中間評価には、子どもたちや先生の^{なま}生の声を吸上げることができるような方法の検討も望まれる。そして、施策のステップアップができるように努めてほしい。

【幼稚園教育・高等教育の振興（担当：学務課）】

<20年度の取り組み>

長岡市内の私立高等学校3校に対し、運営費を補助した。

補助金総額 16,388千円

私立高校就学者の保護者の経済的負担を軽減するため、学費の助成を行った。

助成対象人数 488人

助成金総額 9,676千円

< 成果及び今後の取組み等 >

今後も私立高等学校の健全経営及び保護者の経済的負担軽減のための支援を継続していく。

【幼稚園教育・高等教育の振興（担当：保育課）】

< 20年度の取組み >

長岡市内の私立幼稚園に対し、次のとおり運営費等の補助を行った。

運営費等補助

17園 補助金総額 14,740千円

預かり保育推進事業費補助

8園 補助金総額 1,000千円

障害児教育費補助

20年度は該当園なし

私立幼稚園就園奨励費補助金として、私立幼稚園に在園する園児の保護者の経済的負担の軽減を図るため、各世帯の所得状況に応じて保育料及び入園料の一部を国と市で補助した。また、補助金受給者のうち満3歳児を除く園児の保護者に対し、市単独で上乗せして私立幼稚園就園奨励費助成金を支給した。

私立幼稚園就園奨励費補助金（入園児に対する支給割合 73.26%）

支給対象者 1,425人 補助金総額 109,855千円

私立幼稚園就園奨励費助成金（市単独助成分）

支給対象者 1,277人 助成金総額 5,102千円

< 成果及び今後の取組み等 >

今後も私立幼稚園教育の振興を図り、また保護者の経済的負担軽減のための支援を継続していく。

(2) 子どものサポート体制の充実

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成20年度 達成値
問題行動、いじめ・不登校、児童虐待などについて、関係機関等の連携による予防・対応を推進する。 【心ふれあい相談員の配置校】	12校 (平成18年度)	40校 (平成22年度)	27校
特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援ができる体制を整える。 【介助員及び特別支援介助員の配置数】	82人 (平成18年度)	95人 (平成22年度)	104人

中越大震災で被災した児童生徒の心のケアを推進する。 【臨床心理士等のカウンセラーによる診断児童生徒数】	114人 (平成17年度)	50人 (平成22年度)	31人
--	------------------	-----------------	-----

施策の内容

【生徒指導の充実（担当：学校教育課）】

< 20年度の取り組み >

問題行動やいじめ・不登校、児童虐待など、子どもをめぐる様々な問題への対応と予防を図るため、「子どもふれあいサポート事業」を実施した。

サポートチーム会議の開催 21回

子どもサポートコール相談件数 55件

適応指導教室（長岡フレンドリールーム、栃尾やまびこルーム、寺泊はまちゃん教室、おぐに日だまりルーム）の設置及び訪問相談員（2人）の派遣

心ふれあい相談員の学校への派遣 17人を27校へ派遣

子どもサポート相談会の開催 2回

< 成果及び今後の取り組み等 >

虐待の個々の事例に関するサポートチーム会議が増え、各関係機関がより専門的な立場から関わり、役割分担をすることで、より適切な対応がとれるようになり、教員の精神的、身体的負担が軽減された。

心ふれあい相談員の人材確保が課題である。

【特別支援教育の充実（担当：学校教育課）】

< 20年度の取り組み >

児童生徒一人一人のもつ可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加する力をはぐくむため、個々の教育ニーズに応じた特別支援教育を推進するための体制を構築した。

養護学校への介助員・看護師の配置 介助員17人 看護師2人

特別支援学級への介助員の配置 35校 54人

通常学級への介助員の配置 24校 33人

発達障害通級指導教室の設置 小学校2校、中学校1校

< 成果及び今後の取り組み等 >

小・中学校の特別支援学級、市立養護学校に71人の介助員、通常の学級に33人の特別支援介助員を配置した。個に応じた適切な支援を推進することができた。

発達障害通級指導教室を中学校1校に開設した。個別及びグループ指導を通して、社会性の伸長や自己肯定感の高まり等がみられた。

特別支援学級数及び通常の学級に在籍し特別な支援を必要とする児童生徒

の割合が増加傾向にある。介助員、特別支援介助員の増員を図る必要がある。

【心のケア対策の充実（担当：学校教育課）】

< 20 年度の取り組み >

中越大震災後の学校内における日々の児童生徒の心のケア体制を支援するため、養護教諭等への専門的な指導、研修を行なうとともに業務の補助体制を構築した。

新潟大学の臨床心理士等による、心のケア担当教諭に対する個別指導

受講教諭数 31人

養護教諭が心のケアに関する業務を行うための職務環境を確保するための補助員の派遣

22校に延340日派遣

< 成果及び今後の取組み等 >

心のケア担当教諭等が新潟大学の臨床心理士等の指導を受け、的確なケアを行うことにより、カウンセラーによる診断を受ける児童生徒が減少した。

養護教諭への補助員の派遣により、養護教諭が心のケアを必要とする児童生徒に接する時間が増えた。また、健康相談等本来の業務に専念することができた。

心のケアについては、長期的、継続的な取組みが必要であり、引き続き担当教諭等に対する指導及び養護教諭補助員の派遣を行う必要がある。

< 事務評価委員会の意見等 >

近年、養護教諭の役割は非常に重要になってきていると考える。その中で、養護教諭の補助員の派遣はたいへん評価できる事業であると思われる。今後、より充実することが望まれる。

(3) 青少年の健全育成活動の推進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
青少年体験プログラムの参加者数を増やす。	1,380 人 (平成 18 年度)	1,500 人 (平成 22 年度)	1,372 人
街頭育成活動に対する育成員の参加率を高める。	73.3% (平成 17 年度)	80.0% (平成 22 年度)	84.5%

施策の内容

【交流・体験学習環境の充実（担当：子ども家庭課）】

< 20 年度の取り組み >

子どもフェスティバルは、会場を厚生会館に変更したり、内容をながおか再発見クイズラリーに変更するなど、マンネリ化を解消するため前年と異なる方法で実施した。

夏のつどい in 妙高については、長岡市内の小学5、6年生全員にチラシを配布し、周知するよう変更した。(前年までは長岡地域のみ全児童配布)

< 成果及び今後の取組み等 >

内容、会場を変更した事業は、子どもの参加者が増加した。
 チラシの配布方法を変更したことにより、長岡地域以外の参加者が増加した。
 事業の日程が他のスポーツ活動の日程と重複したことにより、参加者が減少した事業もあったので、次年度は調整し行いたい。

【非行防止活動の充実(担当：子ども家庭課)】

< 20年度の取組み >

青少年育成員に対する研修やミーティングの内容を充実させ、育成活動の必要性、重要性を認識してもらい、非行防止活動の充実を図った。

街頭育成活動実施状況

実施回数 420回、参加育成員数延 1,674人、補導人 707人

青少年相談活動実施状況

面接 16件(96回)、電話 85件、メール 31件(104回)

< 成果及び今後の取組み等 >

街頭育成活動における育成員の参加率は増加傾向ではあるが、育成員の任期満了による交代等により参加率の減少も考えられるため、引き続き研修などの充実を図っていく。

(4) 安全・安心な教育環境の整備

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
「地域の子どもは地域で守る」ことのできる体制を整える。 【小学校区単位の「セーフティーパトロール」団体の組織率】	67.6% (平成 17 年度)	100.0% (平成 22 年度)	100%
市立小・中・養護学校の校舎・屋内運動場の耐震化率を高める。	48.4% (平成 17 年度)	62.5% (平成 22 年度)	71.8%

施策の内容

【子どもの安全確保を図る体制づくりの推進(担当：学校教育課)】

< 20年度の取組み >

登下校時の通学路及び校区における児童生徒の安全を確保するため、セーフティーパトロール事業等を推進したほか、学校や警察から報告を受けた不審者情報のうち、事件、事故に結びつく可能性のある情報を小中学校及び関係機関に提供した。

通学路点検の実施 全学校区（小学校60校区、中学校26校区）

地域住民によるセーフティーパトロール団体の設立 60団体

小中学校、関係機関へ提供した不審者情報 18件

不審者、災害等の緊急情報を学校から保護者に一斉送信する緊急情報配信システムを3小学校（浦瀬小、中之島中央小、脇野町小）に試験的に導入し、システムの内容、効果を検証し今後の導入、運用方法等を検討した。

< 成果及び今後の取り組み等 >

年度内に、未組織だった4小学校にセーフティーパトロール団体の組織化がなされた。これによって市内60小学校区全区にセーフティーパトロール団体が組織され、地域住民等による子どもの安全を守る活動が実施されるようになった。

学校緊急情報配信システムについては、引き続き効果を検証していく。

【防災・防犯教育の充実（担当：学校教育課）】

< 20年度の取り組み >

児童生徒用の防災パンフレット「中越大震災に学ぶ」を積極的に活用するとともに、各学校で次の取り組みを実践した。

通学路安全マップの作成 全小学校

地震、火災を想定した防災訓練、避難訓練の実施 全小中学校

不審者の侵入を想定した防犯訓練、防犯教室の実施 全小中学校

< 成果及び今後の取り組み等 >

各学校で防災・防犯訓練等を消防署、警察署等の関係機関と連携し実施することにより、児童生徒の防災・防犯に対する意識が定着してきている。危険を予測し、回避する能力を身に付けさせる防災・防犯教育の充実を今後も図っていく。

< 事務評価委員会の意見等 >

中越大震災のとき、防災については地域のコミュニケーションが大切であるということが再認識されたことから、防災教育の場においてもこのことを伝え続けてほしい。

【学校施設における安全性の確保（担当：教育総務課）】

< 20年度の取り組み >

小学校11棟、中学校10棟の耐震化工事を実施したほか、耐震診断及び耐力度調査を行った。

< 成果及び今後の取り組み等 >

昨年度において、設定した目標値を3年前倒して達成することができたが、平成20年度はさらに、8.9ポイントの上昇となり、72%に迫る達成値になった。今後も耐震化率100%に向けて計画的に事業を推進していく。

< 事務評価委員会の意見等 >

学校の耐震化の推進は、市民の願いである。今後も計画的に推進していくことが望まれる。

(5) 歴史的・文化的遺産の継承及び活用促進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
歴史的価値が高い建造物の実態把握・保存を進め、教育や地域振興に活用できる機会を増やす。 【市内に所在する歴史的価値が高い建造物の国登録文化財登録件数】	5 件 (平成 17 年度)	2 5 件 (平成 22 年度)	2 1 件
地域に伝わる民俗芸能の適切な保存を進め、後世に伝承される機会を増やす。 【記録保存用にビデオ収録した民俗芸能の演目数】	1 7 9 演目 (平成 17 年度)	1 9 0 演目 (平成 22 年度)	1 8 6 演目

施策の内容

【歴史的・文化的遺産の保存及び継承（担当：科学博物館）】

< 20 年度の取り組み >

越路地域・小国地域の歴史的建造物調査を長岡造形大学に委託して行い、両地域の歴史的建造物の台帳を作成することができた。

長岡市民俗芸能協会に発表の場を提供し、民俗芸能協会所属団体の中から長岡神楽会の 5 演目（うち 3 演目が新規撮影）を撮影し、DVD にて記録保存した。

< 成果及び今後の取組み等 >

歴史的建造物の未調査地域について順次調査を行う予定。ただし、調査後にどの物件について登録有形文化財に推薦するかの選考方法を確立する必要がある。

民俗芸能の記録撮影に関しては、長岡市民俗芸能協会内で多くが撮影し終えており、未収録演目は少なくなっている。しかし、舞手・地方の不足により現在撮影できない団体もある。また、協会に所属していない団体については旧市町村にて撮影されているものはあるが、未撮影演目も多くあると見られる。記録メディアのリニューアル化（ビデオからDVDへなど）各地域に存在する民俗芸能の記録の一元的管理と活用など今後研究していくべきことは多い。

< 事務評価委員会の意見等 >

すばらしい遺産を、学校教育の場でも活用できるよう情報提供を進めてい

てほしい。

(6) 市民主体の生涯学習の推進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
生涯各期における学習機会の場として、中央公民館の利用者数を増やす。	79,696 人 (平成 17 年度)	110,000 人 (平成 22 年度)	75,854 人
「ながおか市民大学」など各種講座を開催し、学習機会の場を提供する。 【各種講座の開催数、参加人数】	33 講座 163 回 1,408 人 (平成 17 年度)	40 講座 190 回 2,000 人 (平成 22 年度)	32 講座 135 回 1,799 人
市民が市内の図書館を利用する機会を増やす。 【市民 1 人当り年間図書館資料貸出数】	5.7 点(冊) (平成 17 年度)	6.5 点(冊) (平成 22 年度)	6.40 点(冊)

施策の内容

【生涯学習機会の充実 (担当：中央公民館)】

< 20 年度の取り組み >

青少年から高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした講座を開催した。
長岡市ホームページに部屋の間取りや備品を掲載し、公民館施設の周知を図った。

経済、文学、工学、自然分野等多様なテーマの講座を開催した。
各講座とも「市民ニーズ」や「現代的な課題」を考慮し、個人の要望や社会の要請に応えられる講座内容の実施に努めた。例えば、ながおか市民大学では、郷土が誇る「長岡花火」や私たちの生活環境にかかわる「地球温暖化の問題」について取り上げた。また、引き続き平成 19 年度から全講座で行っている保育ボランティアによる幼児保育サービスを実施し、子ども連れでも講座に参加できるよう、講座に参加しやすい環境づくりに努めた。

< 成果及び今後の取組み等 >

「山を楽しむ講座」では、定員 40 名を超える申込みがあり、新たな市民ニーズを把握することができた。

今まで開催しなかった医学関連等の講座を開催し、さらなる市民ニーズの把握に努めたい。

「ながおか市民大学」では、市内 4 高等教育機関と連携し、市民の学習要求に応えられるよう講座プログラムを運営委員会で審議検討している。また、受講定員を超える申込みがあった場合などでも可能な限り受け入れている。

今後も講座の内容に合わせ、会場の設定や定員の拡大などに努めて行く。

【生涯学習機会の充実 ・生涯学習関連施設の整備 （担当：中央図書館）】

< 20 年度の取り組み >

米百俵号による新市域への巡回を実施した。
分館 4 館の開館時間を午後 8 時まで延長した。
各館における読み聞かせ等の事業を実施した。

< 成果及び今後の取組み等 >

米百俵号による巡回の拡大や、分館 4 館の開館時間の延長、様々な読書普及活動等により、市民 1 人当たりの貸出数は、目標値の水準に近づきつつある。平成 21 年度は、図書館をより身近で便利に利用できるように本の取次所を設置する。

【生涯学習関連施設の整備 （担当：科学博物館）】

< 20 年度の取り組み >

史跡馬高・三十稻場遺跡の整備に伴い、馬高縄文館の建設工事（本体建築工事、電気設備工事、機械設備工事、展示工事）を行った。
市町村合併に伴う資料収集・調査については、主に寄贈資料の受領等にとどまっており、特定地域を対象にした取り組みは実施していない。

< 成果及び今後の取組み等 >

平成 21 年度も継続して建設工事を行う。9 月 19 日開館予定。なお、馬高縄文館は、遺跡や遺物の展示のほか、縄文文化に関わるイベントや体験学習を行う生涯学習関連施設としての機能をもつ。
今後、科学博物館の移転（リニューアル）も考慮して、新市域全体に関わる資料収集・調査に努める。

(7) スポーツ・レクリエーション活動の推進

目 標	基準値 (年度)	目標値 (年度)	平成 20 年度 達成 値
市民が身近な場所で運動やスポーツを行う拠点づくりを進める。 【市内の教室・クラブ開設数】	724 クラブ (平成 18 年度)	900 クラブ (平成 22 年度)	777 クラブ
ジュニア期からの選手育成強化システムの確立により、競技選手の育成・強化を推進する。 【市内の中学・高校生の全国大会県予選において、ベスト 4 に進出した生徒数】	398 人 (平成 18 年度)	500 人 (平成 22 年度)	423 人

スポーツ・レクリエーション施設のサービス水準や効率性を高める。 【施設管理に指定管理者制度を導入した施設数】	9 施設 (平成 18 年度)	20 施設 (平成 22 年度)	1 8 施設
---	--------------------	---------------------	--------

施策の内容

【生涯スポーツ活動の充実（担当：スポーツ振興課）】

< 20 年度の取り組み >

地域スポーツクラブ育成事業の一環として、指導者養成・活動支援・環境整備の観点から取り組みを推進した。

指導者養成として、体育指導委員を中心に、各地域コミュニティにおけるコーディネーター役を担う人材育成を目的とした研修会を実施した。

活動支援として、各地域コミュニティでのスポーツ活動を促進させるため、出前スポーツ教室や地域対抗スポーツ大会などを実施した。

環境整備として、県立学校における学校開放運営委員会の開催や、各地域コミュニティにおける学校開放の利活用などについて情報交換を行った。

< 成果及び今後の取り組み等 >

市内のスポーツ教室・クラブ開設数は順調に増加しており、各地域コミュニティにおける推進組織との連携による一定の成果があった。

合併後の新市域への展開を含めて、今後は全市的にも一体感のある事業を推進していく必要がある。

【競技スポーツの振興（担当：スポーツ振興課）】

< 20 年度の取り組み >

平成 21 年開催のトキめき新潟国体に向け、小・中学生、高校生を対象に地元開催競技種目の選手育成・強化を、長岡市体育協会へ委託して実施した。国体地元開催競技種目以外についても、体育協会の選手育成事業として実施しているジュニア選手を対象とした強化事業費の一部を補助した。

< 成果及び今後の取り組み等 >

体育協会との連携によるジュニア選手育成に一定の成果があった。

国体開催後も継続して全国に通用する選手・チームを多数輩出していけるよう、今後も種目別競技団体との連携を図っていく必要がある。

【スポーツ・レクリエーション施設の整備及び管理運営（担当：スポーツ振興課）】

< 20 年度の取り組み >

全市的な見地から体育施設整備のあり方や既存施設の利活用と、長岡ニュータウン運動公園（仮称）の整備着手に向けた構想等を取りまとめる「スポーツ施設整備基本構想」を策定した。

ニュータウン運動公園（仮称）の整備として、第一期工事分の基本設計、地質調査及び測量、造成工事を行った。

中之島体育館の改築用地の地質調査を実施した。

トキめき新潟国体の開催に向けた施設整備・改修を行った。

経費節減とサービス向上を図るため、指定管理制度の導入（4施設）を図った。

< 成果及び今後の取組み等 >

ニュータウン運動公園（仮称）の整備や中之島体育館改築等の実施設計に向けた準備が整った。

引き続きトキめき新潟国体の開催会場となる体育館等の施設改修整備を行うとともに、民間のノウハウを活用した効率的な管理運営を進めるため、指定管理者制度の導入を図る。